

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#)

プレスリリース

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2016年

12月26日

共創活動を支援するプラットフォーム「Webコア Innovation Suite」を強化

12月21日

「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」を提供開始

12月5日

富士通SSL、凸版印刷、和歌山大学が共同で光と音によるインスタレーションの実証実験を開始

10月14日

エンドポイントのセキュリティ対策を強化する「マルウェア侵入経路追跡サービス」を提供開始

10月6日

オープンソースの分散型検索・リアルタイム分析エンジン「Elasticsearch導入サービス」を販売開始

9月29日

「富士通SSLソリューションフォーラム2016」開催

8月1日

農林水産省様のWebサイトを全面的に再構築し、本日公開

7月13日

自社開発のWebコンテンツ管理システム「WebコアCMS」を販売開始

7月4日

インターネットアクセス環境分離ソフトウェア「SecureSoft i-コンテナ」を販売開始

6月29日

役員人事について

5月16日

薬学共用試験CBTシステムの74大学の中継サーバをOSSデータベースで再構築

4月19日

未知なるセカイのドアを開く「みらいDOORS」を開設

4月1日

役員人事に関するお知らせ

3月31日

「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定

3月17日

代表取締役人事について

3月8日

多様な人材の活躍を価値創造につなげる「ダイバーシティ経営」を強力に推進

2月29日

東京スター銀行様が「Sitecore Experience Award Asia 2015」日本大賞を受賞 富士通SSLが構築パートナーとして受賞対象のイントラネットシステムを構築支援

2月25日

VRディスプレイ「zSpace」向け多機能汎用ビューアーを販売開始

2月19日

神奈川工科大学が“どこから見ても正面に見える”広告向けディスプレイ技術を開発、ARや多言語表示に期待

2015年以前のプレスリリースは[旧ページ](#)をご確認ください。

利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

2016年12月26日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

共創活動を支援するプラットフォーム「Webコア Innovation Suite」を強化

～数多くの共創活動での利用実績から得た知見をもとに、より円滑な共創活動を支援～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、企業と学校の共創活動を支援するプラットフォーム「Webコア Innovation Suite（ウェブコア・イノベーションスイート）」について、お客様の共創活動をより活性化するツールの機能強化やサービスの拡充を行い2016年12月26日に販売開始します。

当社は、急激に変化する社会環境のなかで常に新たな視点の取り組みが求められる企業や学校向けに、共創活動や協働学習を体系的に支援する製品として「Webコア Innovation Suite」を2014年12月に販売開始し、これまでに多くのお客様にご活用いただいています。同製品は、富士通グループの共創活動でも広く利用されています。その中でも、お客様との共創の場である「FUJITSU Digital Transformation Center」では、「将来のありたい姿」から「具体的な施策」を導き出すデザインアプローチ手法（注1）を用いた共創ワークショップで活用され、様々な業種の100社を超えるお客様にご利用いただいています。

これらの実践を通して得た知見をもとに、「発散」、「収束」、「評価」の一連のプロセスをより効率的・効果的に行うためのツールの機能強化とサービスの拡充を行いました。

当社は、「Webコア Innovation Suite」の提供により、今後もお客様の共創活動や協働学習を支援していきます。

【共創ワークショップでの利用例】

※ 括弧内は、利用される「Webコア Innovation Suite」のICTツール

①「発散」	発想のヒントとなるアイデアカードを任意の観点で分類表示させながら俯瞰。 各自が気になるカードを吟味選択し、次の「収束」プロセスで利用するツールに送信。 （コンテンツ表示・分類ツール「VisualConferenceBoard」）
②「収束」	カードを選んだ理由を説明して「思い」を共有。全員で分析用のテンプレートなどを使って個々のアイデアを全体のビジョンにまとめる。（カード情報活用ツール「EveryBoard」）
③「評価」	まとめたビジョンを発表し、全員でコメントを投稿。コメントを共有・整理し、ビジョンをさらにブラッシュアップ。（コメント投稿活用ツール「Mickr」）



【強化ポイント】

1. ツール間の連携を強化

- コンテンツ表示・分類ツール「VisualConferenceBoard」からカード情報活用ツール「EveryBoard」へ選択したコンテンツをワンタッチで転送できるようになりました。これにより、アイデアの発散から収束への展開がよりスムーズに行えます。

2. 共創を支援するユーザーインターフェースの強化

- コンテンツ表示・分類ツール「VisualConferenceBoard」において、コンテンツの属性や補足説明、関連コンテンツ一覧などの情報がワンタッチで表示可能となりました。これにより、新たな発想やひらめきの創出をより一層加速させます。
- カード情報活用ツール「EveryBoard」とコメント投稿活用ツール「Mickr」に履歴管理機能が追加されました。これにより、過去の討議の状況を振り返ったり、任意のタイミングから討議が再開できます。

3. 共創活動支援のためのサービスを追加

- ワークショップでアイデア創出のヒントとなるアイデアカードの作成を支援する「アイデアビジュアルライズサービス」や、お客様独自のワークショッププログラムの開発から定着までを支援する「ワークショップデザインサービス」をオプションサービスとして追加しました。

【「Webコア Innovation Suite」について】

「Webコア Innovation Suite」は、企業の共創活動や学校の協働学習などのグループワークにおける、「発散」、「収束」、「評価」のプロセスを体系的に支援するプラットフォームです。

1. 共創活動を効率的に支援するICTツール群

共創活動の各プロセスを効率的に支援するICTツールを提供します。

【主なICTツール】

- コンテンツ表示・分類ツール「VisualConferenceBoard（ビジュアルカンファレンスボード）」
- カード情報活用ツール「EveryBoard（エブリボード）」
- コメント投稿活用ツール「Mickr（ミッカー）」

2. 実績のあるメソッドをベースとしたプロセステンプレート

利用シーンごとの具体的な手順書やワークシートが含まれ、共創活動をナビゲートします。

【販売価格】

製品・サービス名	販売価格（税別）
「WebコアInnovation Suite」	1,200,000円
「WebコアInnovation Suite」保守サービス（必須）	240,000円／年間
「導入サービス」（オプションサービス） 製品インストール、環境設定、動作検証	個別見積

「操作教育サービス」(オプションサービス) 担当者への製品の操作方法教育	個別見積
「アイデアビジュアルライズサービス」(オプションサービス) [新規] アイデア創出のヒントとなるアイデアカードの制作	個別見積
「ワークショップデザインサービス」(オプションサービス) [新規] お客様独自のワークショッププログラムの開発から運用と定着までを支援	個別見積

※ 別途、「WebコアInnovation Suite」用サーバ機 (Linux)、各ICTツール用パソコン (Windows) などが必要となります。

【販売開始日】2016年 12月26日

【販売目標】1億円／2年間

【関連Webサイト】

- 企業と学校の共創活動を支援するプラットフォーム「Webコア Innovation Suite」：
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/software/applications/co-creation/webcore-innovation/>
- 共創ワークショップ空間「FUJITSU Digital Transformation Center」：
<http://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/dtc/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、52のソリューション群「PoweredSolution (パワード・ソリューション)」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【注釈】

(注1) デザインアプローチ手法

関係者全員でアイデアを出し合って将来ありたい姿(ビジョン)を描き、バックキャストでその実現に向けた具体的な働き方やソリューションの利用方法などを検討・評価しながら、具体的な施策を導いていくアプローチ。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

お客様お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ [商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[利用条件](#) [個人情報保護ポリシー](#) [お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

Copyright 1996-2020 FUJITSU SOCIAL SCIENCE LABORATORY LIMITED

[富士通ホームへ](#) 

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2016年12月21日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」を提供開始

～マイクロソフト社SharePointと、SharePointとの親和性が高いNintex社ワークフロー製品によるコミュニケーション基盤の構築サービスで、ナレッジ共有と業務効率化を実現～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、ニンテックス・ジャパン株式会社と販売契約を締結し、米国Nintex社のワークフロー製品の取り扱いを開始します。これに合わせ、柔軟なワークフロー機能を備えたコミュニケーション基盤を構築する「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」を2016年12月21日に販売開始します。

「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」は、マイクロソフト社が提供する統合ビジネスプラットフォームMicrosoft® SharePoint®（以下：SharePoint）と、SharePointのワークフロー機能を強化するアドオンソフトNintex Workflowを組み合わせて、コミュニケーション基盤の設計から構築、導入、運用までトータルに提供するサービスです。SharePointを活用し、文書管理やポータルサイト、ワークフローなどが統一された基盤を構築することで、社内ナレッジの共有を促進します。さらに、Nintex Workflowを活用し、お客様の様々な業務プロセスを自動化することで、業務効率化を実現します。SharePointにNintex Workflowを組み合わせることで、SharePointの標準機能である申請・承認・否認に加え、申請の差し戻しや取り戻し、代理申請、代理承認などのワークフローをGUIで簡単に設定できます。また、ワークフローのステータス（承認状況）をフロー図上で確認することも可能です。Nintex Workflowはマイクロソフトの統合型情報共有クラウドサービスMicrosoft® Office 365®（以下：Office 365）をはじめとする多数のクラウドサービスに対応しており、ワークフローで承認後、SNSへ自動で投稿するなど、機能をさらに拡張させることができます。既にオンプレミスのSharePointやOffice 365を導入済みのお客様には、既存の環境にNintex Workflowを追加することで、より高機能なコミュニケーション基盤をご利用いただくことが可能です。

【背景】

富士通グループは、ワークスタイルの多様化に迅速に対応していくため、グローバル16万人の従業員のコミュニケーション基盤を2015年に統一しました。その社内実践を通じて浮き彫りになった課題とその解決方法などのノウハウをベースに、ワークスタイル変革の企画から、コミュニケーション基盤の導入、運用、利活用の促進までをトータルに支援しています。当社は、富士通グループのコミュニケーション基盤構築におい



「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」の体系図

[図を拡大表示](#) (107 KB)

て、Nintex Workflowを導入し、社内の業務プロセスを自動化することで業務効率化を実現しました。

今般、当社は、Nintex Workflowの社内実践から得たノウハウを活かし「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」を提供することで、お客様のナレッジ共有の促進と業務効率化をご支援してまいります。

【「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」の特長】

1. ナレッジの共有を促進するコミュニケーション基盤を提供
SharePointに精通した当社SEが、お客様のご要件だけでなく、導入の目的や期待する成果などを伺ったうえで、利便性、デザイン性の高いサイト上に業務プロセスに最適なワークフローを構築し、社内に浸透・定着しやすいコミュニケーション基盤を提供することで、ナレッジの共有を促進します。
2. 業務効率化を実現する柔軟なワークフローを提供
多種多様な要件に柔軟に対応できるNintex Workflowの機能をフル活用し、お客様の業務プロセスに沿ったフォームにカスタマイズして提供します。シンプルなワークフローは、導入後、お客様ご自身でSharePoint上のフォームデザイナー画面に必要なコントロールをドラッグ&ドロップするだけで、いつでも手軽に設定することができます。
3. 安心してご利用いただける高品質な運用保守サービス
コミュニケーション基盤を安心してご利用いただけるよう、SharePointに精通した当社SEが運用保守を代行します。また、当社はNintex社製品の正規販売代理店としてニントックス・ジャパン株式会社と連携を強化しており、より専門性の高い、充実したサポート体制でお客様のご要望に幅広くお応えします。

【サービス一覧】

スタートアップサービス
SharePointの典型的な汎用サイト構築、ワークフローテンプレート導入など、お客様がすぐに使える環境を整えます。
ワークフロー導入サポートサービス
現場の業務プロセスを自動化するワークフローの検討から導入までをご支援します。
サイト構築サービス
ポータル/チームサイト構築、ワークフローテンプレート構築などSharePointサイトの構築をご支援します。
業務文書管理サービス
文書情報管理士が組織のキードキュメント管理状況を可視化し、適切な管理方法をご提案します。
テクニカルサポートサービス
SharePointとNintex活用に関する技術的な質問に回答します。
運用保守サービス
SharePointとNintex環境の運用保守を代行します。

【販売価格（税別）】

スタートアップサービス	： 150万円～
ワークフロー導入サポートサービス	： 200万円～
サイト構築サービス	： 200万円～
業務文書管理サービス	： 200万円～
テクニカルサポートサービス	： 19万8千円～（月額）
運用保守サービス	： 19万8千円～（月額）

【販売開始日】2016年12月21日

【販売目標】1年間で1億円

【ニンテックス・ジャパン株式会社からのエンドースメント】

この度の株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ様の、弊社製品をご活用いただいた「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」の開始、心よりお礼申し上げますとともに、謹んでお祝い申し上げます。

Nintex Workflowはオンプレミス版、オンライン版のSharePointと連携し、稟議/回覧/承認といった一般的な承認ワークフローのみならず、様々な業種の、様々な業務の自動化にご活用いただいております。特別なコーディングなどを施すことなく、直観的な操作でワークフロー、プロセスオートメーションのシステムを組み上げられることによって、非常に早く生産性を向上できるツールとして世界中で高い評価をいただいております。今回、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ様が自社でのご導入、開発経験を生かして、お客様のワークフロー、プロセス自動化の構築/開発をサポートされることにより、より多くのお客様が業務プロセスの自動化による生産性向上を体感し、より競争力の高いビジネスが可能になっていくことと確信しております。

ニンテックス・ジャパン株式会社としても、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ様と密接な協業を図り、お客様により高い価値を提供すべく努めてまいります。

ニンテックス・ジャパン株式会社
セールスダイレクター
辻本 克也

【関連Webサイト】

「ワークフロー・業務文書基盤構築サービス」

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/application-services/enterprise-applications/communication/workflow-documents/>

富士通が実践するグローバルコミュニケーション基盤

<http://www.fujitsu.com/jp/services/application-services/application-development-integration/global-communication/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」

「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、52のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

お客様お問い合わせ先

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年12月5日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

凸版印刷株式会社

国立大学法人和歌山大学

富士通SSL、凸版印刷、和歌山大学が共同で光と音による インスタレーションの実証実験を開始

～モデリングを不要とする新しいプロジェクションマッピング技法で、
日本橋三越本店天女像に質感演出を実現～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄、以下、富士通SSL）と**凸版印刷株式会社**（東京都千代田区、代表取締役社長：金子真吾、以下、凸版印刷）、**和歌山大学**（和歌山県和歌山市）システム工学部の天野研究室は共同で、日本橋三越本店の協力のもと、同店本館1階中央ホールに建立されている「天女（まごころ）像」に対し、光と音によるインスタレーション（注1）の実証実験を12月12日から開始します。

本実証実験は、アートとテクノロジーの融合を追求する和歌山大学 天野敏之准教授監修のもと、同准教授が開発した光投影によって質感表現を操作する技術を応用し、新しいプロジェクションマッピング技法で、日本橋三越本店のシンボルである天女像を演出するものです。

産学連携により、先端技術を応用したビジネス開発を進める富士通SSLのイノベーション推進力と、先端デジタル表現やイベント支援のソリューションを持つ凸版印刷のノウハウを連携させることで、光と音により空間全体を一つの芸術作品とするインスタレーションを実現します。

従来のプロジェクションマッピング技法では、事前に対象物を三次元のデータとしてコンピュータが扱える形にモデリングする必要があるため、今回の天女像のように複雑で大きな対象物では、技術や費用対効果の面などで実現が困難でした。しかし、天野准教授が開発した技術は、従来とは異なり、対象物をリアルタイムにカメラで捉えることで、形状に関係なくプロジェクターから適切な色をマッピングすることができます。これにより、豊かな質感表現操作が可能となり、空間全体を芸術作品へと昇華する演出を行うことができます。

今回の実証実験では、複雑な形状で大きな彫刻である日本橋三越本店の天女像（高さ：11メートル）へ様々な質感を感じさせる色彩を投影することで光り輝く様子を、音楽に合わせリアルタイムに表現します。

今後、本実証実験をもとにシステムを実用化し、富士通SSLと凸版印刷は、それぞれのマーケットでインスタレーションによる演出ビジネスを2016年度内に開始する予定です。



[天女像へのインスタレーションイメージ]

【実証実験の詳細】

実施時期： 2016年12月12日（月曜日）～12月29日（木曜日）

実施時間： 16時、17時、18時の3回（各回約3分）
*初日のみ、12時の回を追加で実施

実施場所： 日本橋三越本店 本館1階 中央ホール

実施内容： 光と音による天女像のインスタレーション

※また、12月29日（木曜日）に開催される「第32回 三越の第九」（12時30分～、14時30分～）の演奏前にも演出を実施します。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL： <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」

「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、51のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【凸版印刷株式会社について】

URL：<http://www.toppan.co.jp/>

凸版印刷は1900年の創業以来、培ってきた「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション」、「生活・産業」、「エレクトロニクス」の3分野で幅広い事業を展開しています。

ビジュアルコミュニケーション事業では、高精細CGやVRコンテンツの制作、3Dシミュレーションサービスをはじめ、史跡をVRコンテンツで再現し、スマートフォンなどの位置情報と連動して配信するサービス「ストリートミュージアム®」などの独自サービスを展開しています。

【天野敏之プロフィール】

URL：http://wakarid.center.wakayama-u.ac.jp/ProfileRefMain_2354.html

和歌山大学 システム工学部 情報通信システム学科 准教授 / 博士（工学）
2007年よりプロジェクトとカメラを用いたインタラクティブな見かけの操作技術の研究に従事。近年は、最新のプロジェクション技術で伝統工芸品がもつ美しさを表現する新たな映像芸術を手がけている。

【注釈】

（注1）インスタレーション

展示空間を含めて作品とみなす手法を指す。彫刻の延長として捉えられたり、音や光といった物体に依拠しない素材を活かした作品に適用され、観客が作品の内部に入り込む体験ができる。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

広報室：（電話）044-739-1520 （E-mail）ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

凸版印刷株式会社

広報室：（電話）03-3835-5636 （E-mail）kouhou@toppan.co.jp

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年10月14日

富士通株式会社

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

エンドポイントのセキュリティ対策を強化する 「マルウェア侵入経路追跡サービス」を提供開始

～エンドポイントまで包括した機器監視を代行し、お客様のCSIRT運用を支援～

富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中達也、以下、富士通）と**株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ**（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄、以下、富士通SSL）は、お客様のエンドポイント（注1）を対象としたセキュリティ対策を強化する「マルウェア侵入経路追跡サービス」を本日より提供開始します。

本サービスは、未知のマルウェアの悪意ある構造やふるまいを検出し、攻撃から防御できるソフトウェア「FFR yarai」（注2）とマルウェアの侵入経路を追跡できるソフトウェア「SML」（注3）の導入から運用、監視、セキュリティ対策の改善案の提出までを一括して提供するものです。

本サービスを利用することで、お客様は、エンドポイントのセキュリティ対策を強化し、自社での対応が難しい運用や監視などの負担を軽減できます。

富士通と富士通SSLは、ネットワークだけでなくエンドポイントも含めたセキュリティ対策を包括的に提供し、お客様のCSIRT(注4)運用を支援します。

【背景】

近年、個人情報の搾取を狙った標的型攻撃の脅威が急増しており、多様化する手口に対し多角的な対策が必要とされています。企業においても、標的型メールによる攻撃や悪意のあるWebサイトへのアクセスなどの被害が増加しており、エンドポイントのセキュリティ対策の強化を課題とするお客様も少なくありません。しかし、多層なセキュリティ対策はシステム運用の負荷が高くなるほか、CSIRTを有する企業においても、サイバー攻撃の監視や分析などを行うセキュリティアナリストの不足により、有事の際の対処完了までに膨大な時間を要するなど現場での課題も多く、適切な運用体制の構築が急務となっています。

このような課題に対応するため、富士通と富士通SSLは、エンドポイントのセキュリティ対策を検討されているお客様に向け、「マルウェア侵入経路追跡サービス」を提供します。

なお、11月11日（金曜日）、THE GRAND HALL（東京都港区）で開催する「富士通SSLソリューションフォーラム2016」にて、本サービスをデモ形式で展示します。

【「マルウェア侵入経路追跡サービス」について】

お客様のシステム上で、エンドポイントの標的型攻撃対策ツール国内トップシェア（注5）の「FFR yarai」とマルウェア侵入経路追跡ソフトウェア「SML」を連携させ、エンドポイントのサイバー攻撃の監視から、受けた攻撃の分析結果報告までを行うサービスです。

「FFR yarai」が未知のマルウェアやアプリケーションの脆弱性をついた攻撃からエンドポイントをリアルタイムに防御することで被害の発生・拡大を抑えつつ、エンドポイントの動

作ログを「SML」で収集・分析し、受けたサイバー攻撃の侵入経路や拡散状況を特定します。さらに、「SML」のログ情報を富士通SSLのSOC（注6）で蓄積しているインテリジェンス情報（世界中から収集される脅威情報や日々発見される脆弱性情報）と照合し、調査結果の報告と包括的な改善案をスピーディに提案します。

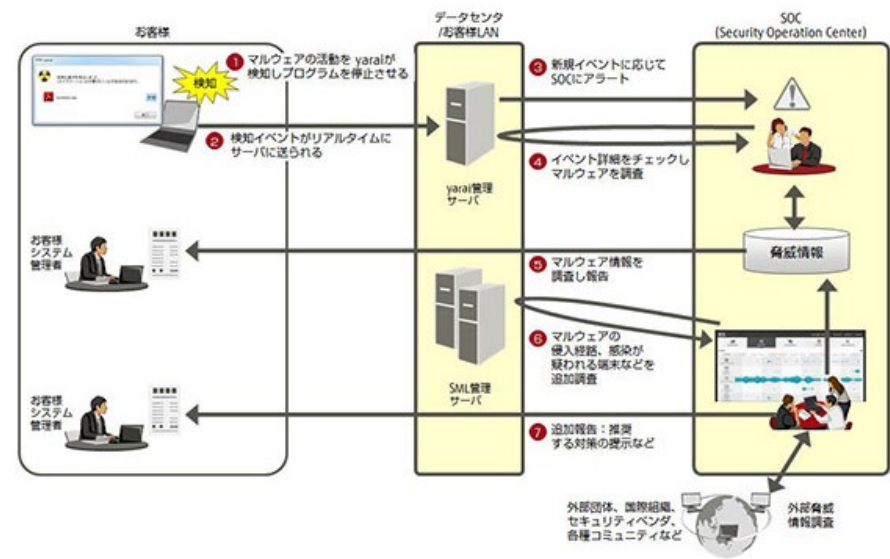


図1.マルウェア検出時の対処手順

[図を拡大表示](#) (98 KB)

【販売価格および提供時期】

サービス名	販売価格（税別）	提供時期
「マルウェア侵入経路追跡サービス」	エンドポイントの機器1,000台で月額80万円～ （注）ツールライセンスが別途必要です。	10月14日より

【販売目標】

今後2年間で売上10億円

【注釈】

（注1）エンドポイント：

通信回線やネットワークの末端に接続されたコンピュータや情報機器。

（注2）FFR yarai：

株式会社FFRI（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鶴飼裕司）が開発。

（注3）SML（Security Management with Logging）：

キャノン電子株式会社（本社：埼玉県秩父市、代表取締役社長：酒巻久）が開発。

（注4）CSIRT（Computer Security Incident Response Team）：

コンピュータやネットワーク上で何らかの問題（主にセキュリティ上の問題）が起きていないかどうかを監視し、万が一問題が発生した場合にその原因解析や影響範囲の調査を行う組織。

（注5）エンドポイント型の標的型攻撃対策ツールで国内トップシェア：

株式会社富士キメラ総研「2015 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」による

（注6）SOC（Security Operation Center）：

セキュリティ製品・ネットワーク機器・サーバなどのログを監視・分析し、サイバー攻撃の検出・通知を行う組織。

【関連Webサイト】

- 「マルウェア侵入経路追跡サービス」：
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/infrastructure/network/managed/mss/malware/>
- 富士通SSLソリューションフォーラム2016：
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/event/forum/>

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

お客様お問い合わせ先

富士通株式会社 統合商品戦略本部 セキュリティビジネス推進統括部 ビジネス推進部

TEL: 03-6441-0151 (直通)

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ](#) [商品お問合せ窓口](#)

報道関係者お問い合わせ先

富士通株式会社 広報IR室

TEL:03-6252-2174 (直通)

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年10月6日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

オープンソースの分散型検索・リアルタイム分析エンジン 「Elasticsearch導入サービス」を販売開始

～経験豊富なOSSの専門家が「Elasticsearch」の導入から
運用サポートまでワンストップでご支援～

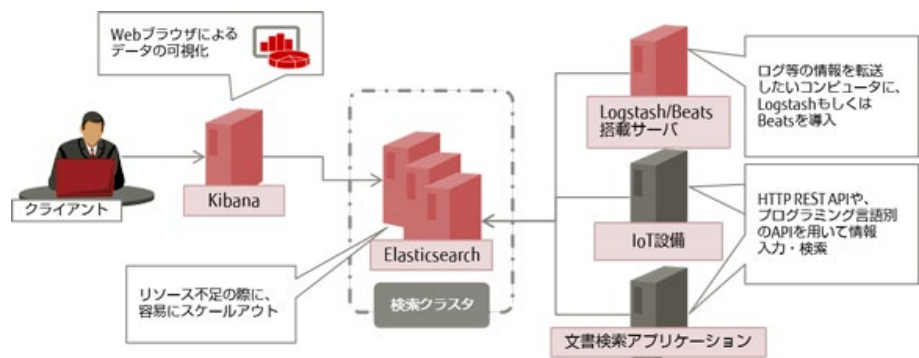
株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、Elastic社のオープンソース・ソフトウェア（OSS）の分散型検索・リアルタイム分析エンジン「Elasticsearch（エラスティックサーチ）」の導入から運用サポートまでOSSの専門家がワンストップでご支援する「Elasticsearch導入サービス」を2016年10月6日に販売開始します。

近年、情報のデジタル化により、企業で取り扱うデータは増加の一途を辿っています。企業では、このビッグデータをマーケティングや経営戦略に役立てるための検討が進んでいます。しかし、ビッグデータを活用するには専用のハードウェアやソフトウェアが必要となることが多いため、コストメリットや拡張性の高いOSSの活用が注目されています。

「Elasticsearch」は実績ある全文検索ライブラリ「Apache Lucene」を内包した、OSSの分散型検索・リアルタイム分析エンジンで、テキストデータの検索や収集したデータのリアルタイム分析など、様々な用途に活用することができます。

「Elasticsearch導入サービス」は、「Elasticsearch」を含む「Elasticスタック」[（注1）](#)と拡張プラグイン群「X-Pack」[（注2）](#)を活用し、データの可視化やセキュリティ、アラートなどの拡張機能も提供します。OSSの豊富な導入経験と高い技術力を持つ当社のエンジニアが、お客様のご希望やご要件をヒアリングし、ビッグデータを有効活用するための検索／分析方法の検討、既存システム環境に影響の少ないシステム設計など、豊富なOSS導入実績から得た独自のノウハウを活かし、トータルにご支援します。また、導入後の運用については、Elastic社の日本法人であるElasticsearch株式会社と連携し、充実したサポート体制を整えており、安心して導入サービスをご利用いただくことができます。

この度、当社は「Elasticsearch導入サービス」を、提供中である「OSS導入ソリューション」のサービスの一つとして追加しました。今後当社は、「OSS導入ソリューション」のサービスメニューを一層充実させ、お客様のご要件やご予算にあわせて選択いただくことで、OSS活用によるコスト削減をご支援してまいります。



<「Elasticsearch」の利用例>

[図を拡大表示](#) (29 KB)

【「Elasticsearch導入サービス」の特長】

1. PoC（注3）から設計、導入までワンストップでご支援

当社のOSSの専門家が、お客様のご希望、ご要件にあわせて、検索や分析方法の検討段階から導入、運用サポートまでワンストップでご支援します。さらに、「Elasticsearch」の導入効果をお客様が判断したうえで導入いただけるよう、導入効果の評価支援の作業としてPoC支援も実施します。

2. 安心してご利用いただける、きめ細かなサポート体制を整備

OSSの導入に不安のあるお客様にも安心してご利用いただけるよう、当社はリセラーパートナーとしてElasticsearch株式会社と密に連携し、より専門性の高い、きめ細かなサポートを提供します。また、お客様のご要件やご予算にあわせて作成したSLA（注4）に基づき、お客様に最適なサポートサービスをご提供します。

【「Elasticsearch」について】

「Elasticsearch」は文書を高速に検索できるだけでなく、コンピュータ、ネットワーク機器などが出力する様々なデータを収集し投入することで、リアルタイムに分析や解析を行うことも可能です。またスケーラビリティに優れているため、必要最低限のサーバ台数から運用を開始でき、データ量の増加に伴い処理能力が不足した際には、「Elasticsearch」サーバを追加するだけで、処理を分散し性能を保つことができます。

さらに、「Elasticスタック」に含まれるデータ可視化ツール「Kibana」により、コンピュータリソースやセキュリティ関連など様々な情報を可視化することで、有益な洞察をご支援します。

【販売価格】 個別見積り

（参考）サブスクリプション価格： 3ノード 年額 196万5,000円～ （税別）

（Elastic社が提供するOSSのサポートと「X-Pack」の利用を含むパッケージです。）

【販売開始日】 2016年10月6日

【販売目標】 2年間で2億円

【当社のOSSへの取り組み】

当社は、2006年からOSSの各種ソリューションやサービスの提供を開始しており、これまでの豊富なOSSの導入実績から得たノウハウを活かした高品質なサポート対応でお客様に安心して利用いただけるOSS環境を提供しています。2014年には、OSS関連ソリューションのメニュー体系を刷新し、「OSS導入ソリューション」、「OSSサポートソリューション」、「データベース移行ソリューション」の3つの柱でOSSの導入から導入後のサポート、商用

データベースからの移行までトータルに提供しています。お客様の幅広いご要望に、より一層お応えするため、今後、製品ラインナップを拡充しサービスを強化してまいります。

【関連Webサイト】

「Elasticsearch導入サービス」

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/application-services/enterprise-applications/oss/elasticsearch/>

「FUJITSU Enterprise Application OSS導入ソリューション」

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/application-services/enterprise-applications/oss/donyu/>

【注釈】

(注1) 「Elasticスタック」

リアルタイム検索分析エンジン「Elasticsearch」、ログ収集・転送ツール「Logstash」、データ可視化ツール「Kibana」、軽量のデータシッパー「Beats」をパッケージ化したもの。

(注2) 「X-Pack」

サブスクリプションを購入することで使用可能となる、セキュリティ、アラート、レポート、監視、グラフなどの拡張パッケージ群。

(注3) PoC (Proof of Concept : 概念実証)

新しい概念や理論、原理などが実現可能であることを示すための簡易な試行。

(注4) SLA (Service Level Agreement : サービス品質保証)

サービスを提供する側とその利用者の間に結ばれるサービスのレベル(定義、範囲、内容、達成目標等)に関する合意書。

【Elastic社について】 URL : <http://www.elastic.co>

Elastic社は、構造・非構造データをリアルタイムに検索、ロギング、分析など幅広いユースケースに利用可能なソフトウェアを提供する会社です。「Elasticsearch」、「Kibana」、「Logstash」、「Beats」といったオープンソースプロジェクトの開発メンバーにより2012年に設立。「Elasticスタック」、「X-Pack」、「Elastic Cloud」は累計ダウンロード7,000万件を達成しています。本社はオランダのアムステルダムと米国カリフォルニア州マウンテンビューにあり、全世界に展開しています。日本ではElasticsearch株式会社として、販売、サポート、コンサルティングなどを提供しています。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発/システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、51のソリューション群「PoweredSolution(パワード・ソリューション)」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ](#) [商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2016年9月29日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

「富士通SSLソリューションフォーラム2016」開催

お客様とイノベーションを共創するデジタル・テクノロジー
～ソーシャルサイエンスの探求により、豊かな社会を創造する～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、2016年11月11日（金曜日）、THE GRAND HALL（東京都港区）にて、『お客様とイノベーションを共創するデジタル・テクノロジー ～ソーシャルサイエンスの探求により、豊かな社会を創造する～』をテーマに、プライベートフォーラム「富士通SSLソリューションフォーラム2016」を開催します。

「IoT」「ビッグデータ」「AI」などデジタル・テクノロジーが急速に進展する近年、企業ではお客様との共創による新たな価値創出が必要不可欠となっています。当社は大学の研究室、先進企業やお客様をつなぐ「オープンイノベーションHUB」として、お客様との共創による新たなイノベーションビジネスの創出に取り組んでいます。また、自社ソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」を通じ、デジタル・テクノロジーを活用したお客様の新たな価値創出と更なる価値向上を支援しています。

「富士通SSLソリューションフォーラム2016」では、最新の「PoweredSolution」や当社取り組みをデジタルトランスフォーメーションと先端技術の切り口で、講演およびデモ展示にてご紹介します。また、今般「PoweredSolution」に追加した、クラウドサービスやバーチャルリアリティ（VR）関連の新規ソリューションもご紹介します。

本フォーラムのご案内や事前お申し込みなどの詳細については、「富士通SSLソリューションフォーラム2016」Webサイトをご覧ください。

【「富士通SSLソリューションフォーラム2016」概要】

1. 日時

2016年11月11日（金曜日） 10時～17時（受付 10時～16時30分）

[セミナー] 10時40分～16時

[デモ展示] 10時～17時

2. 会場

THE GRAND HALL（東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー3F）

3. テーマ

お客様とイノベーションを共創するデジタル・テクノロジー
～ソーシャルサイエンスの探求により、豊かな社会を創造する～

4. 参加料

無料（事前参加申込制）

[申し込み締切] 2016年11月4日（金曜日） 17時

【デモ展示概要】

最新の「PoweredSolution」と先端技術をご紹介します。実際に体感いただける体験型ブースも用意しています。

デジタルトランスフォーメーションエリア

Aゾーン：ヒト・モノ・コトをつなぐ「デジタルビジネス」

デジタル技術の進展により、これまで扱えなかったモノやコトがデジタルデータに変換され、蓄積・分析できるようになりました。デジタルデータによって、ヒト・モノ・コトをつなぎ、ビジネスに新たな価値をもたらすサービスや製品をご紹介します。

1. 物流KPIを可視化し高品質な物流を実現する 「輸配送システム」
2. 「個」客の体験価値を最大化する 「Web活用デジタルマーケティング支援」
3. 企業が持つ3Dモデルデータで表現する 「VR活用デジタルマーケティング支援」
【新ソリューション】
4. センシング技術を用いて身体能力を可視化する 「センシングデータ活用基盤」 （参考出展）

Bゾーン：未知の脅威から守る 「サイバー攻撃対策」

世界的規模で発生しているサイバー攻撃の脅威に備えるには、事象を正確に把握・分析し、被害拡大防止のための確なセキュリティ運用と組織体制の整備を行う必要があります。お客様の安全なセキュリティ運用を強化するサービスや製品をご紹介します。

1. 専門家がネットワークからエンドポイントまで総合的に監視する 「マネージド・セキュリティサービス」
2. マルウェアの侵入・実行抑止によりサーバを防御する 「ホワイトリスト型防御」
3. 重要データをセキュリティ脅威から分離・保護する 「セキュア・コンテナ」

Cゾーン：デジタルビジネスを支える「プラットフォーム」

お客様のデジタルビジネスを支えるには、OSSの活用や既存資産のスピーディーな活用、さらには情報漏えいなども考慮した、様々な環境に対応するプラットフォームが必要不可欠です。お客様の将来のビジネスを支えるプラットフォーム群をご紹介します。

1. 専門家が安心と高品質で支える 「OSS導入/サポートソリューション」
2. クラウド環境にも対応したDB監査による 「クラウド時代の情報漏えい対策」
【新ソリューション】
3. 変化するビジネス環境にスピーディーに応える 「Webサービス基盤」

先端技術エリア（参考出展）

Dゾーン：心豊かな社会を実現する 「ダイバーシティコミュニケーション」

異なる立場、異なる世代、異なる国籍の人々の多様性を活かし、協働していくことで新たな価値を生み出す可能性が広がります。様々なコミュニケーション支援技術の利用シーンをご紹介します。

1. 音を光や振動に変換して情報を伝える 「お知らせテクノロジー」
2. 距離を感じさせない遠隔コミュニケーションを実現する 「分身テクノロジー」
(筑波大学共同研究)
3. 多様な人が参加し円滑な議論を実現する 「ダイバーシティ会議ソリューション」

Eゾーン：オープンイノベーションを加速する 「産民学連携」

当社は3年前よりオープンイノベーションHUBとして産学連携やお客様との共創活動に取り組んできました。その中から最新の産学連携と地域連携の取り組みをご紹介します。

1. キーワードの関連情報をSNSから取り込み新発見を促す 「共創支援ツール群」
2. テレグジスタンスによる新たなコミュニケーション研究 「アソブレラ」
(大阪大学共同研究)
3. 「見かけの質感操作」による演出を実用化するプロジェクション研究
(和歌山大学共同研究)
4. 地域と密着し課題解決を目指す当社の取り組み 「川崎市」「ピープルデザイン研究所」「タマリバ」

【セミナー概要】

各分野の時代の先端をいく有識者による講演を予定しています。

10時40分～11時50分

〔主催者あいさつ〕 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

代表取締役社長 林 恒雄

「物質と実質の間で」

筑波大学 助教／メディアアーティスト 落合 陽一 氏

我々のグループでは、デジタルネイチャーという自然観を設定し、物質と実質の間に考えられうるあらゆる選択肢（オルタナティブ）を実装していくような研究スタイルをとっています。メディア装置研究やメディアアート作品の解説とともに社会実装や産業応用の話を通じて世界観と背景知識が共有できればと考えています。

13時10分～14時10分

「ピープルデザインでつくる超福祉の未来」

有限会社ネクスタイド・エヴォリューション、有限会社フジヤマストア 代表取締役社長

NPO法人ピープルデザイン研究所 代表理事 須藤 シンジ 氏

ピープルデザイン研究所は、ダイバーシティの実現を目指し「社会的少数派・マイノリティを区別せず、自然に、自由に混ざり合っていることが当たり前の社会づくり」のプロジェクトを展開しています。「心のバリアフリー」をクリエイティブに実現する思想と方法論について我々の取り組みをご紹介します。

15時00分～16時00分

「我が国のサイバーセキュリティ政策について ～企業経営の視点から～」

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター 副センター長 内閣審議官 三角 育生 氏

サイバーセキュリティの必要性の認識が高まっていますが、今後の情報化の一層の進展を見据えた時に、組織・企業としてどのようなセキュリティに係る取り組みがありうるか、という視点を踏まえた我が国のサイバーセキュリティ政策を概説します。

(注) セミナー、展示の内容は変更することがあります。

【「PoweredSolution」について】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/powered/>

「PoweredSolution」は2000年から提供している当社のソリューション群です。「Digital Platform」、「Security」、「Business Application」、「Innovation」の4つのカテゴリ、51のソリューションにより、お客様に安全・安全なICT環境を提供するとともに、ビジネスとソーシャルの両面で、お客様の新たな価値創出をご支援します。

このたび、当社は「PoweredSolution」に5つの新規ソリューションを追加しました。「Security」には「クラウドデータベース監査ソリューション」を加え、クラウド上での一層強固なセキュリティ対策をご提供します。また、「Digital Platform」にはお客様が持つマスターデータの包括的な管理を支援する「データ統合ソリューション」を追加し、「Business Application」には効率的なコミュニケーションを実現する「図面・文書統合ソリューション」と「ペーパーレス会議ソリューション」を、さらに「Innovation」には急速に活用が拡大する「VRソリューション」を追加し、幅広いラインナップでお客様のビジネスをトータルにサポートしてまいります。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

お客様お問い合わせ先

富士通SSLソリューションフォーラム2016事務局

E-mail : ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

2016年8月1日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

農林水産省様のWebサイトを全面的に再構築し、本日公開

～複数サーバに分散していた各庁や地方局のWebサイトを1台のサーバに集約し、
「WebコアCMS」で一元管理。サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、自社開発で豊富な導入実績を誇るWebコンテンツ管理システム「FUJITSU Enterprise Application WebコアCMS（フジツウ エンタープライズ アプリケーション ウェブ コア シーエムエス）」（以下：「WebコアCMS」）を活用して農林水産省様のWebサイトを全面的に再構築し、本日2016年8月1日にリニューアル公開されました。今回の再構築により、サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減すると共に、マルチデバイスでのWebサイトの閲覧や、新たな絞り込み検索機能「逆引き事典」を実現したことで利用者の利便性がより一層向上しました。

リニューアルされたWebサイトは、スマートフォンやタブレット端末などのマルチデバイスにも対応しており、パソコンと同じ情報をいつでもどこでも閲覧できます。また今回、農林水産省様のご要望にお応えし、通常のサイト検索機能とは別に、補助金や融資、出資などの情報を容易に見つけ出すことのできる「逆引き事典」を開発し、提供しました。利用者は、カテゴリー一覧からクリック形式で条件を絞り込んでいくことで、探したい情報を手軽に検索することが可能です。

運用面においては、従来、複数サーバに分散していた農林水産省、林野庁、水産庁、地方局などのWebサイトを1台のサーバに集約し、「WebコアCMS」ですべてのコンテンツを一元管理することで、サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減しました。

このたびのリニューアルは、株式会社NTTデータ・アイ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：川島祐治）の協力を得て実現しました。農林水産省様は、国民や農業・林業・漁業従事者にとって有益な情報を利便性の高いWebサイトでタイムリーに発信していくと共に、「WebコアCMS」の活用により運用コストの削減を図っていきます。また当社は、農林水産省様のWebサイトがこれまで以上に効果的かつ効率的に運用されるよう、Webサイトの運営全般を強力にバックアップしてまいります。

【農林水産省様 Webサイト】 <http://www.maff.go.jp/>



トップページ画面

 [図を拡大表示](#) (534 KB)



「逆引き事典」の画面

 [図を拡大表示](#) (391 KB)

【背景】

農林水産省様は、Webサイトを活用し、食料の安定供給や農業・林業・漁業従事者に向けた各種情報、政策や報道発表案件など、長年に渡り日々積極的に情報を発信しています。その情報量は省庁の中でもトップクラスで、約11万ページにも及んでいました。その一方で、サイト利用者は、膨大な情報量の中からすぐに必要な情報を探し出すことが難しく、目的のページに辿り着くまでに時間を要していました。

また、Webサイトのサービス向上のためカスタマイズで機能追加を続けた結果、システムが複雑化し運用の難しさが課題となっていました。さらに、農林水産省、林野庁、水産庁、地方局などのWebサイトはそれぞれ別の複数サーバで運用されていたため、Webサイト全体を統括する管理者の運用負荷が高く、運用負荷の軽減が求められていました。

【「WebコアCMS」の導入効果】

1. サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減

複数のサーバで運用していた農林水産省と各庁のWebサイトを1台のサーバに集約し、すべてのコンテンツを「WebコアCMS」で一元管理することで、サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減します。また、「WebコアCMS」の導入により承認ワークフローが一本化されるため、作成から公開に至るまでの承認者権限を明確化することができます。

2. 直観的な画面操作が可能

「WebコアCMS」のユーザビリティに優れた直観的な操作性により、従来のCMSに慣れ親しんだ職員でも簡単な教育のみでコンテンツの登録や削除、申請、承認など一連の操作をスムーズに行うことができます。

3. 効果的な情報発信を実現

「WebコアCMS」の導入により、1時間単位だったWebコンテンツの配信スケジュールが1分単位で設定可能となり、より効果的に情報発信を行うことができます。

【Webサイトのリニューアルポイント】

1. 「逆引き事典」で情報の探しやすさが格段に向上

「逆引き事典」は農業編、林業編、水産業編のジャンルに分かれており、それぞれ、補助金、融資、出資、税制、優良事例のカテゴリから、さらに細かい条件をクリック形式で絞り込んでいくだけで、必要な情報を簡単に探し出すことができます。さらに、複数ページを比較したい場合は、各ページの共通する項目を抽出し、一つの画面に表示するため、複数ページの内容を一目で把握することができます。

2. スマートフォンとタブレット端末でも閲覧可能

スマートフォンやタブレット端末などのマルチデバイスへも対応したことで、パソコンと同じ情報をいつでもどこでも気軽に閲覧できます。

3. 親しみ感とインパクトのあるデザインに一新

トップページの背景に農業や漁業にまつわる日本各地の写真を週替わりで掲載し、親しみ感とインパクトのあるデザインに一新しました。写真をクリックすることで関連情報が簡単に閲覧できる仕組みになっており、閲覧者にプラスαの価値を提供します。

【今後の予定】

今後、農林水産省様は、アクセスログ機能を活用してページの閲覧動線を解析することでさらなる改善を図り、より利便性の高いWebサイトを活用した情報提供を目指していきます。当社は、現在別のシステム上で運用している絞り込み検索機能「逆引き事典」と「WebコアCMS」をより密に連携させることで、さらに利便性の高い情報提供の実現を目指します。

【関連リンク】

自社開発のWebコンテンツ管理システム「WebコアCMS」を販売開始

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2016/0713.html>

「FUJITSU Enterprise Application WebコアCMS」製品ページ

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/software/applications/website/webcore-cms/>

農林水産省様 Webサイト

<http://www.maff.go.jp/>

株式会社NTTデータ・アイ Webサイト

<http://www.nttd-i.co.jp/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2016年7月13日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

自社開発のWebコンテンツ管理システム「WebコアCMS」を販売開始

～豊富な導入実績を誇る「WebコアEnterprise」を大幅に機能拡張し、
「WebコアCMS」としてリニューアル～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、Webサイト利用者へのサービス向上とサイト運営の効率化を実現するWebコンテンツ管理システム「FUJITSU Enterprise Application WebコアCMS（フジツウ エンタープライズ アプリケーション ウェブ コア シーエムエス）」（以下：「WebコアCMS」）を2016年7月13日に販売開始します。

「WebコアCMS」は、自社開発のWebコンテンツ管理システム「FUJITSU ビジネス アプリケーション WebコアEnterprise」（以下：「WebコアEnterprise」）をベースとした静的なWebコンテンツ管理システムです。「WebコアEnterprise」は2001年の販売開始以降、70社以上の大手企業や官公庁、政令指定都市、全国の各自治体など多くのお客様にご利用いただいています。このたび、「WebコアEnterprise」をご利用のお客様からいただいたご要望を大幅に取り入れると共に、ユーザビリティに優れたGUIに一新し、「WebコアCMS」としてリニューアルしました。

【農林水産省様 Webサイト】 <http://www.maff.go.jp/>



トップページ画面

 [図を拡大表示](#) (534 KB)



引き事典」の画面

 [図を拡大表示](#) (391 KB)

「逆

【背景】

農林水産省様は、Webサイトを活用し、食料の安定供給や農業・林業・漁業従事者に向けた各種情報、政策や報道発表案件など、長年に渡り日々積極的に情報を発信しています。その情報量は省庁の中でもトップクラスで、約11万ページにも及んでいました。その一方で、サイト利用者は、膨大な情報量の中からすぐに必要な情報を探し出すことが難しく、目的のページに辿り着くまでに時間を要していました。

また、Webサイトのサービス向上のためカスタマイズで機能追加を続けた結果、システムが複雑化し運用の難しさが課題となっていました。さらに、農林水産省、林野庁、水産庁、地方局などのWebサイトはそれぞれ別の複数サーバで運用されていたため、Webサイト全体

を統括する管理者の運用負荷が高く、運用負荷の軽減が求められていました。

【「WebコアCMS」の導入効果】

1. サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減

複数のサーバで運用していた農林水産省と各庁のWebサイトを1台のサーバに集約し、すべてのコンテンツを「WebコアCMS」で一元管理することで、サイト管理者の運用負荷を大幅に軽減します。また、「WebコアCMS」の導入により承認ワークフローが一本化されるため、作成から公開に至るまでの承認者権限を明確化することができます。

2. 直観的な画面操作が可能

「WebコアCMS」のユーザビリティに優れた直観的な操作性により、従来のCMSに慣れ親しんだ職員でも簡単な教育のみでコンテンツの登録や削除、申請、承認など一連の操作をスムーズに行うことができます。

3. 効果的な情報発信を実現

「WebコアCMS」の導入により、1時間単位だったWebコンテンツの配信スケジュールが1分単位で設定可能となり、より効果的に情報発信を行うことができます。

【Webサイトのリニューアルポイント】

1. 「逆引き事典」で情報の探しやすさが格段に向上

「逆引き事典」は農業編、林業編、水産業編のジャンルに分かれており、それぞれ、補助金、融資、出資、税制、優良事例のカテゴリから、さらに細かい条件をクリック形式で絞り込んでいくだけで、必要な情報を簡単に探し出すことができます。さらに、複数ページを比較したい場合は、各ページの共通する項目を抽出し、一つの画面に表示するため、複数ページの内容を一目で把握することができます。

2. スマートフォンとタブレット端末でも閲覧可能

スマートフォンやタブレット端末などのマルチデバイスへも対応したことで、パソコンと同じ情報をいつでもどこでも気軽に閲覧できます。

3. 親しみ感とインパクトのあるデザインに一新

トップページの背景に農業や漁業にまつわる日本各地の写真を週替わりで掲載し、親しみ感とインパクトのあるデザインに一新しました。写真をクリックすることで関連情報が簡単に閲覧できる仕組みになっており、閲覧者にプラスαの価値を提供します。

【今後の予定】

今後、農林水産省様は、アクセスログ機能を活用してページの閲覧動線を解析することでさらなる改善を図り、より利便性の高いWebサイトを活用した情報提供を目指していきます。当社は、現在別のシステム上で運用している絞り込み検索機能「逆引き事典」と「WebコアCMS」をより密に連携させることで、さらに利便性の高い情報提供の実現を目指します。

【関連リンク】

自社開発のWebコンテンツ管理システム「WebコアCMS」を販売開始

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2016/0713.html>

農林水産省様 Webサイト

<http://www.maff.go.jp/>

株式会社NTTデータ・アイ Webサイト

<http://www.nttd-i.co.jp/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年7月4日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

インターネットアクセス環境分離ソフトウェア 「SecureSoft i-コンテナ」を販売開始

～重要データの流出リスクを排除するネットワーク分離を低コスト・短期間で実現～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、株式会社セキュアソフト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：姜昇旭）と販売契約を締結し、エンドポイント型情報漏えい対策「SecureSoftコンテナシリーズ」のインターネットアクセス環境分離ソフトウェア「SecureSoft i-コンテナ（セキュアソフト アイコンテナ）」を2016年7月4日に販売開始します。

同製品は、パソコン内に隔離されたセキュアなコンテナを生成することによりインターネットアクセス環境を分離し、インターネットからの標的型攻撃やマルウェア感染などの影響をコンテナ内に封じ込めます。万一マルウェアに感染しても情報漏えいの心配はなく、コンテナを初期化することで簡単に完全除去が可能です。

また、既に業務で利用中のパソコンに「SecureSoft i-コンテナ」をインストールし、管理サーバなどを設置するだけで導入できるため、大幅なシステム改修を不要とし、低コスト・短期間での導入が可能です。

当社は同製品の提供により、インターネットアクセス環境分離を低コスト・短期間で実現したいお客様のご要望にお応えしていきます。なお、マイナンバーなど重要データの取り扱い環境を分離できる同シリーズ製品「SecureSoft S-コンテナ」も近日中の販売を予定しています。

【背景】

総務省は、2015年11月に「自治体情報システム強靱性向上モデル」を発表し、各自治体に対してインターネット環境分離等の対策を要求事項として提示しています。また、標的型攻撃による重要データの流出被害の増加やマイナンバー制度の施行を受け、企業や組織においては、基幹系業務と情報系業務のネットワーク分離などの対策を迫られています。一方で、ネットワーク分離による対策は大幅なシステム改修を要するのが一般的で、コスト面などの問題から特に中小規模の組織では導入が進んでいないのが現状です。

今回、当社はお客様のニーズにお応えするため、低コストかつ短期間でインターネットアクセス環境を分離できる「SecureSoft i-コンテナ」の提供を開始します。

当社は、今後も様々なお客様の要件に合った情報漏えい対策ソリューションの拡充を進め、お客様の安全・安心を支援してまいります。

【「SecureSoft i-コンテナ」の特長】

1. 社内ネットワークからインターネット接続のリスクを分離

- 。インターネットアクセス環境をコンテナとして隔離することで、インターネット経由のマルウェア感染などの影響をコンテナ内に封じ込めます。これにより、社内ネットワークからインターネット接続リスクが分離され、社内ネットワークからの情報漏え

いを防止します。

- 。業務上、コンテナ内外で特定のファイルの持ち出しや持ち込みが必要な場合は、ワークフローによる申請・承認により制御する事も可能です。

2. マルウェアに感染しても簡単に完全除去

- 。インターネットアクセス環境（コンテナ）がマルウェアに感染しても、コンテナを初期化することで完全除去が可能です。

3. 低コストかつ短期間での導入が可能

- 。サーバやネットワークなどの大幅なシステム改修は不要なため、低コストかつ短期間での導入が可能です。
- 。コンテナ外のローカル環境は今までどおり利用でき、利用者の使い勝手を変えずに導入いただけます。

4. 組織のセキュリティポリシーの徹底が可能

- 。サーバで一括管理し、各クライアントの設定をサーバから強制適用することで、容易に組織のセキュリティポリシーを徹底する事が可能です。



【「SecureSoft S-コンテナ」について】（近日販売予定）

1. 重要データ取り扱い環境を社内ネットワークから分離

- 。社内ネットワークからマイナンバーなど重要データの取り扱い環境をコンテナとして隔離することで、重要データが社内ネットワークから流出することを防止します。

2. 複数拠点間の重要データ取り扱い環境で共同作業が可能

- 。本社と支社など複数拠点間の重要データ取り扱い環境（コンテナ）同士をVPNで接続し、重要データを共有しながら共同作業をすることも可能です。

【動作OS】

- 。クライアント：Windows 7 / 8.1 / 10
- 。サーバ：Windows Server 2012 / 2012 R2

【販売価格、および販売開始日】

ライセンス	価格（税別）	販売開始日
「SecureSoft i-コンテナ」（クライアント）	25,000円	2016年7月4日
「Control Center for i/Sコンテナ」（サーバ）	1,500,000円	

「SecureSoft S-コンテナ」(クライアント)	50,000円	近日販売予定
-----------------------------	---------	--------

【販売目標】3年間で4億円

【関連リンク】

「SecureSoft i-コンテナ」詳細ページ

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/network/security/network-security/data-leakage-prevention/securesoft-container/i-container/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年6月29日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

役員人事について

2016年6月28日に開催された第47回定時株主総会および取締役会において、下記の役員人事を決定しましたのでお知らせします。

なお、当社関連会社である株式会社SSLパワードサービスの役員人事についても、2016年6月29日開催の第11回定時株主総会および取締役会により、下記のとおり決定しましたので、あわせてお知らせします。

記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（2016年6月28日付）】

[選任]

代表取締役社長	林 恒雄（重任）
取締役	嶋田 強（重任）
取締役（非常勤）	砂田 敬之（重任）
取締役（非常勤）	湯原 雅之（重任）
監査役（非常勤）	山田 宏伸（新任）

[辞任]

監査役（非常勤）	青山 兼三
----------	-------

【株式会社SSLパワードサービス（2016年6月29日付）】

[選任]

代表取締役社長（非常勤）	山田 雅裕（重任）
取締役	小林 正明（重任）
取締役（非常勤）	田代 文男（重任）
監査役（非常勤）	池之上 隆司

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

です。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[利用条件](#) [個人情報保護ポリシー](#) [お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

Copyright 1996-2020 FUJITSU SOCIAL SCIENCE LABORATORY LIMITED

[富士通ホームへ](#) 

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2016年4月19日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

未知なるセカイのドアを開く「みらいDOORS」を開設

～ お客様と新たな価値を創り出す共創活動を強力に推進 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄）は、お客様との共創の場「みらいDOORS」を2016年4月18日、進展めざましく注目を集める街、武蔵小杉の本社オフィスに開設しました。これを機に、お客様との共創活動をより強力に推進し、新たな価値を創出していきます。

「みらいDOORS」は、“開こう！未知なるセカイのドアを”をコンセプトメッセージとし、お客様と共に未来の新たな価値を創り出していくことを目的に開設したものです。「みらいDOORS」には、自社開発の共創支援&学習支援ツール群「Webコア Innovation Suite（ウェブコア・イノベーションスイート）」をはじめ、大学や先進企業と研究開発中の最先端要素技術を常設しており、それらを活用してアイデアソンやハッカソンなどお客様とグループワークを行うことで、討議やアイデア発想を活性化し、イノベーションの創出を促進します。

近年、IoT、ビッグデータ、ソーシャルメディア、人工知能などの情報技術の急激な進歩による「情報革命」がもたらすパラダイムシフトが起きており、新たな価値の創出が求められています。当社は、お客様との共創による新たな価値創出に向けて、産学連携や先進企業との「オープンイノベーションHUB」として、イノベティブなビジネスの創出にいち早く取り組んでいます。

今後、当社は「みらいDOORS」におけるお客様との共創活動に、「オープンイノベーションHUB」の取り組みで得た、新たな知見や幅広いつながりを活用し、お客様と共に新ビジネスの創出に積極的に取り組み、お客様の更なる価値向上をご支援してまいります。

【「みらいDOORS」概要】

名称	みらいDOORS
コンセプトメッセージ	“開こう！未知なるセカイのドアを”
目的	お客様との共創により、未来の新たな価値を創り出していく
	未来の新たな価値を創り出す未知なるドアを、お客様と開



コンセプト	き、共にイノベーションを起こし続けていくことにより、心豊かな社会を創造する	【コンセプトデザイン】
-------	---------------------------------------	-------------

【新たな価値をカタチにする仕組み】

	特長	説明
触発する	未来のカタチを具現化する要素技術の常設展示	大学・先進企業と共同研究中の先端技術を体感しながらディスカッションすることにより、利用者は触発され、より豊かなアイデアの創出を促進します。
活性化する	共創活動を活性化する最新ICTを装備	大画面で、発想支援、議論の整理・記録が行える最新ICTを装備し、共創活動の活性化をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> 「Webコア Innovation Suite」（自社開発製品）
外部の知見を取り入れる	積極的なオープンイノベーションで価値創造を加速	社外のイノベーションリーダーと協業し両社の知見やノウハウを融合させ、より深く、迅速に共創活動を進めます。その一つである「タマリバ」は、多摩川を臨む「みらいDOORS」に業種や業界の枠を超え“たまり場”として集まり、イノベーションリーダーとの対話により課題を共通認識し、新たな価値創造を行っています。



【「みらいDOORS」の利用シーン】

【関連リンク】

当社のイノベーションの取り組みについて

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/efforts/innovation/>

[プレスリリース]

共創支援&学習支援ツール群「Webコア Innovation Suite」を販売開始（2014年12月24日発信）

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2014/1224.html>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年4月1日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

役員人事に関するお知らせ

当社は、4月1日付で下記のとおり役員の人事異動を行いますので、お知らせいたします。

記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（2016年6月28日付）】

[選任]

代表取締役社長 林 恒雄（重任）
取締役 嶋田 強（重任）
取締役（非常勤）砂田 敬之（重任）
取締役（非常勤）湯原 雅之（重任）
監査役（非常勤）山田 宏伸（新任）

[辞任]

監査役（非常勤）青山 兼三

【株式会社SSLパワードサービス（2016年6月29日付）】

[選任]

代表取締役社長（非常勤）山田 雅裕（重任）
取締役 小林 正明（重任）
取締役（非常勤）田代 文男（重任）
監査役（非常勤）池之上 隆司

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#)

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2016年3月31日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定

～ 女性が活躍できる働きやすい環境と柔軟な働き方を整備し、
ダイバーシティ経営を一層強力に推進 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：川口浩幸、略称：富士通SSL）は、2016年4月に施行される「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（以下：「女性活躍推進法」）に基づき、行動計画を策定しました。

当社は2003年より、キャリアデザイン制度による社員の能力開発や、ワーク・ライフ・バランスの推進、育児休暇取得の奨励など、性別や国籍等を問わず社員一人ひとりが活躍できる体制の充実に取り組んでおり、2014年度に「キャリア支援企業表彰2014」厚生労働大臣表彰を受賞しました。また、今年1月には行動指針「SSL Diversity WAY」を制定し、多様な人材の活躍を価値創造につなげる「ダイバーシティ経営」を強力に推進しています。

このたび、4月1日に「女性活躍推進法」が全面施行されるにあたり、「管理職に占める女性社員の割合増加」および「在宅勤務の制度化と環境の改善」を目標に行動計画を策定しました。

今後当社は、働きやすい環境と柔軟な働き方で女性が活躍できる職場作りに取り組み、ダイバーシティ経営を一層強力に推進してまいります。

【「女性活躍推進法」に基づく富士通SSLの行動計画】

当社は、女性活躍の推進と柔軟な働き方の拡充のため、次のような行動計画を策定しました。

- 目標1：管理職に占める女性社員の割合を10%にする
目標2：在宅勤務の制度化と環境の改善

1. 計画期間 2016年4月1日～2019年3月31日（3年間）

2. 当社の課題

- 課題1：女性は時間等の制約を抱えやすいことから、それを踏まえた自身のライフとキャリアのプランを考える必要がある。
- 課題2：マネジメント層の女性社員の活躍および育成に関する意識改革が必要である。
- 課題3：今後、性別に関わらず、柔軟な働き方が求められる。

3. 取り組み内容・実施時期

- 取り組み1：女性社員が“ライフイベント&キャリア”を考える機会創出を検討・企画・実施する。

2015年～	当社のワーキンググループ「ダイバーシティ推進WG」にて、“女性が輝く職場／仕事も家庭も”をテーマに解決策を検討
2016年～	<p>活躍している女性の取り組み事例を共有</p> <p>活躍している女性社員や周囲の社員に、ワーク・ライフ・バランスの考え方、育児・育休・介護への取り組みや課題、職場で実施している小さな改善活動などを社内で発表し、共有する。</p>
	セミナー内容の検討／セミナー開催

取り組み2： マネジメント層の女性社員の活躍および育成に対する意識改革施策を検討・企画・実施する。

2016年～	セミナー内容の検討／セミナー開催
--------	------------------

取り組み3： 柔軟な働き方を検討・企画・実施する。

2015年～	在宅勤務トライアル
2016年～	トライアルを踏まえた制度のブラッシュアップと制度の周知・活用事例紹介
2017年～	<p>在宅勤務制度スタート</p> <p>「ダイバーシティ推進WG」にて多様な働き方（場所・時間等）をテーマに解決策を検討</p>

【関連Webサイト】

- 厚生労働省委託事業 女性の活躍・両立支援 総合サイト 両立支援のひろば
<http://www.ryouritsu.jp/index.html>
- 多様な人材の活躍を価値創造につなげる「ダイバーシティ経営」を強力に推進
(2016年3月8日 プレスリリース)
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2016/0308.html>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL： <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、オープンイノベーション・ハブとして数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年3月17日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

代表取締役人事について

今般、下記の代表取締役人事を内定いたしましたのでお知らせいたします。来る4月1日開催予定の臨時株主総会において正式に決定される予定です。

記

1. 代表取締役

(1) 新任

代表取締役社長 林 恒雄
(現 富士通株式会社 官公庁システム事業本部長代理)

(2) 退任

代表取締役社長 川口 浩幸
(4月1日付で当社常任顧問に就任予定)

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#)

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年3月8日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

多様な人材の活躍を価値創造につなげる 「ダイバーシティ経営」を強力に推進

～ 行動指針「SSL Diversity Way」を制定し、
多様な人材の活躍によるイノベーションの創出を加速 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：川口浩幸）は、イノベーション創出のさらなる加速に向け、このたび、行動指針「SSL Diversity Way」を制定し「ダイバーシティ経営」を強力に推進していきます。

当社は、オープンイノベーション・ハブとして数多くの大学や先進企業と連携し、共創から新たな価値を生み出すイノベーションビジネスによりお客様の価値向上を支援しています。当社は、様々な視点からさらなるイノベーションを起こすため企業経営にもこの考え方を活かし、多様な人材の活躍を価値創造につなげる経営「ダイバーシティ経営」を推進します。その第一歩として、育児・介護経験者や在宅勤務者など働き方や働く場所に配慮が必要とされる「制約社員」を含む社員が約半年間意見交換を行い、人事制度、勤務環境、社員の意識改革の3つのフレームについて考え方と進め方を提言し、「ダイバーシティ経営」の行動指針である「SSL Diversity Way」を2016年1月に制定しました。

今後当社は、「SSL Diversity Way」をスローガンに、社員一人ひとりが多様化と向き合うための行動指針を示すことで、イノベーションの創出へつなげる「ダイバーシティ経営」を強力に推進し、さらなる価値創出を実現していきます。また、社員の意識改革と共に、一人ひとりが自分事として"ライフイベント&キャリア"を考え、多様な人材が最大限に能力を発揮できる土壌を全社員で築いていくことで、さらなる組織力の向上を目指します。

【 SSL Diversity Way 】

「SSL Diversity Way」は、多様な人材が活躍できる土壌を作るために、会社が大切にすべき価値観、および日々の活動において社員一人ひとりがどのように多様性を進めていくかの原理原則を示したものです。



【3つのフレームにおける、主な考え方と進め方（予定）】

当社は2003年より、キャリアデザイン制度による社員の能力開発や、ワーク・ライフ・バランスの推進、育児休暇取得の奨励など、性別や国籍等を問わず社員一人ひとりが活躍できる体制の充実に取り組んでいます。

今後当社は、ダイバーシティ経営の推進に向け、以下の制度や活動について強化・導入を検討していきます。

■人事制度・人材登用

- ・ワーク・ライフ・バランスの観点から、評価目標に「働き方」の項目追加を検討
- ・短時間勤務者の評価基準の不透明さを改善するため、評価基準を業務成果ベースにし、ダイバーシティ取り組みPointの導入を検討
- ・育児休暇、介護休暇中の社員に対し、在宅での研修機会を提供するなど、スキル習得のためのフォローを強化

■勤務環境・体制の整備

- ・健康安全対策と連携し、コアタイム無しフレックス制度の活用場面の拡大を検討
- ・男性社員の育児休暇やコアタイム変更について、事例やQAを紹介することで制度の活用を推進
- ・在宅勤務条件の緩和、およびシンクライアント端末の活用やサテライトオフィスの活用により、社員の幅広いニーズに対応

■社員の意識改革・能力開発

- ・働き方、キャリアを考えるコミュニティや価値創造のためのカフェスペースなどを立ち上げ、多様な人材が有する「個性」を理解し、互いに刺激を与え合うための場を創出
- ・マネジメント層の意識改革を推進するため、各種研修や取り組みを実施
- ・各部でダイバーシティについて考え、実践、振り返りを行うことで全社員への浸透を図る

【今後の計画】

当社はダイバーシティ経営について、まずは2016年4月に施行される女性活躍推進法に向け、女性がライフイベントとキャリアを考える場の検討やそれに対するマネジメント層の意識改革、在宅勤務の拡大等により、女性が輝いて働くことのできる職場作りを推進します。さらに今後は、障がい者の活躍や、国際化への対応などにおいても、社員の声を取り入れ、具体的な制度とその運用施策の検討、導入を進めていきます。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、オープンイノベーション・ハブとして数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年2月29日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

東京スター銀行様が「**Sitecore Experience Award Asia 2015**」
日本大賞を受賞
富士通SSLが構築パートナーとして受賞対象のイントラネットシステム
を構築支援

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：川口浩幸）は、デジタルマーケティング基盤「Sitecore Experience Platform」（開発元：サイトコア株式会社、本社：デンマーク）を活用して株式会社東京スター銀行様のイントラネットシステム（社内向けサイト）の構築を支援し、サイトコア株式会社より以下の賞を受賞しました。

「**Sitecore Experience Award 2015 Asia**」

日本大賞 および **Best Financial Services**部門

株式会社東京スター銀行（社内向けサイトのためURL非公開）

構築パートナー：株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

同じく当社が構築支援した富士通株式会社の販売パートナーサイトは、「Best Systems Integration部門」を受賞しました。

「Sitecore Experience Award」は、Sitecoreソリューションを活用して顧客一人ひとりに優れたブランドエクスペリエンスを提供する先進企業に与えられるものです。サイトコア株式会社は、顧客とのコミュニケーションの基点となるWebサイトのコンテンツ管理システムに、デジタルマーケティングの効果検証・最適化までを統合したマーケティングソリューションを開発・提供しています。

当社はサイトコア株式会社の新世代統合型Web CMS（Contents Management System）を活用し、サイト訪問者ごとに最適な情報を提供し、さらに高度なマーケティングも実現するWebサイトを提供します。当社は今後もカスタマーエクスペリエンスを向上するデジタルマーケティング基盤により、お客様の先進的なWebサイト構築を支援していきます。

【東京スター銀行様の受賞について】

- 「**Sitecore Experience Award 2015 Asia**」日本大賞 および **Best Financial Services**部門を受賞

東京スター銀行様では、Sitecoreのコンテンツ管理機能によるサイトの構造化やパーソナライズ機能、レコメンド機能を活用したリアルタイム分析によるサイト利用者ごとに最適化されたコンテンツ配信を実現しました。その結果サイト管理者は管理業務に専念でき、サイト利用者にとっては利便性や操作性が向上し、導入前と比較するとページビューは1.3倍、サイト利用者そのものが30%増加するなど、業務を大幅に推進しました。

【「Sitecore Experience Award」について】

デジタルマーケティングの基盤として「Sitecore Experience Platform」を活用し、企業・ブランドとの全ての接点において、顧客一人ひとりの状況やニーズといったコンテキストに沿ったコンテンツを提供することで優れたエクスペリエンスを演出している企業とサイトコア社のパートナー企業に与えられる賞です。



【関連リンク】

- ・「Sitecore Experience Award 2015 Asia」受賞企業発表（サイトコア株式会社）
<http://www.sitecore.net/ja-jp/About/Press%20and%20Media/Press%20Releases/2016/02/20160202_SitecoreExperienceAwardJP.aspx>
- ・新世代統合型Web CMS「Sitecore CMS」
<<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/software/applications/website/sitecore-cms/>>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、オープンイノベーション・ハブとして数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#)

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2016年2月25日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

VRディスプレイ「zSpace」向け多機能汎用ビューアーを販売開始

～ お客様が保有する3Dデータの活用と臨場感あふれる滑らかな3D描画を実現 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：川口浩幸）は、バーチャルリアリティ（VR）ディスプレイ「zSpace（ズイー・スペース）」（開発元：zSpace, Inc.、販売元：富士通株式会社）向けの多機能汎用ビューアー「FZViewer（エフゼットビューアー）」を2016年2月25日に販売開始します。

「FZViewer」は、3Dデータを立体的に表示し実物と同じ感覚で確認できるVRディスプレイ「zSpace」専用のビューアーソフトウェアです。多くの3Dデータ形式に対応しているため、お客様が保有する3Dデータを活用することができます。また、内部の描画処理に高性能なゲームエンジンを活用することで、ビジネスでも利用できる臨場感のある美しい描画と滑らかな動きを実現しました。建築・不動産分野での間取りのシミュレーションや製造業での設計デザインレビューをはじめ、教育や医療分野など様々なシーンで活用でき、サービス・製品の品質向上、工数削減などを実現します。

当社は、「FZViewer」の販売により、「zSpace」の利用シーンを拡大し、お客様のビジネスの新しい可能性をVR技術で広げていきます。

【背景】

昨今、様々なVRデバイスが登場し、VR市場が盛り上がりを見せ始めている中で、多くのビジネス分野でVR技術の活用が期待されています。その一方で、現在主流となっているヘッドマウント型のVRデバイスは、没入感には優れているものの、重さによる疲労や酔いやささなど長時間利用での課題が指摘されています。

当社の「FZViewer」と連携するVRディスプレイ「zSpace」は、机上設置型のディスプレイと軽量の偏向グラスにより、長時間の利用でも疲れにくく、ビジネス利用に適したVRデバイスです。当社は、「zSpace」によるVR技術のビジネス活用をより拡大するために、様々な分野で利用されている3Dデータ形式を利用可能で、高速な描画性能と対象物の切断や光源変更など多くの機能を実装した「FZViewer」を開発しました。



写真1. 利用イメージ



写真2. 「FZViewer」画面イメージ1



写真3. 「FZViewer」画面イメージ2

【「FZViewer」の特長】

1. 美しい描写と滑らかな動きによる圧倒的な臨場感

描画処理に、高性能なゲームエンジン「Unity®」（開発元：Unity Technologies）を活用することで、臨場感あふれる美しい描画と滑らかな動きを実現しました。

2. 多くの3Dデータ形式に対応する汎用性

多くの3Dデータ形式に対応しているため、様々な分野で使用されているお客様保有のデータを活用することができます。

標準対応フォーマット	FBXファイル形式 (.fbx)、COLLADA形式 (.dae)、AutoCAD形式 (.dxf)、3ds Max形式 (.3ds)、Wavefront OBJ形式(.obj) ※「Unity」で取り込み可能なフォーマット
------------	---

3. 豊富な機能を直観的に操作可能

目の前に映し出された立体物に対して、移動や回転、切断、光源変更など様々な効果を与えることができます。スタイラスペンと視覚角度を感知するセンサー付きの3D偏向メガネにより、あたかも手にとって見ているように直観的に操作する事が可能です。

4. 国産初の「zSpace」汎用ビューアー

当社が独自に開発した「zSpace」汎用ビューアーです。メニュー表示は日本語に対応しています。

【利用シーン】

1. 建築・不動産

立体的な間取り、インテリア・シミュレーターの実現

2. 製造

デザイン検証、検図、デザインレビュー、製品の販売プレゼン

3. 教育

博物館など収蔵品の3Dスキャンデータの立体視展示

4. 医療

医用データの立体視表示

【VRディスプレイ「zSpace」について】（販売元：富士通株式会社）

米国zSpace社が開発した、3Dデータを立体的に表示できるディスプレイです。従来のバーチャルリアリティとは一線を画し、実物と同じ感覚で3Dデータを確認することが可能です。

[特長]

- 24インチ型3次元立体視ディスプレイシステム
- スタイラスペン使用の直感的な対話型システム
- 軽量の3D偏向メガネ
- ヘッドトラッキングによる最適立体表示機能



写真4. 「zSpace」 本体

【「FZViewer」 販売価格】

製品名	標準価格（税別）
zSpace向け多機能汎用VRビューアー「FZViewer」	1ライセンス 300,000円

※「zSpace」 台数分のライセンスが必要

【販売開始日】 2016年2月25日

【販売目標】 3年間で2億円

【関連リンク】

「FZViewer」 詳細ページ：

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/software/applications/co-creation/fzviewer/>

「zSpace」 詳細ページ（富士通株式会社 公開サイト）：

<http://www.fujitsu.com/jp/solutions/business-technology/vr-solution/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、46のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、オープンイノベーション・ハブとして数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2016年2月19日

神奈川工科大学

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

神奈川工科大学が“どこから見ても正面に見える”広告向けディスプレイ技術を開発、ARや多言語表示に期待

～ 富士通SSLと実用化に向けた共同研究を推進 ～

神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科の谷中一寿教授、白井暁彦准教授らはこのたび、映像を複数の視点から自然に正面に見えるよう同時表示するディスプレイ技術「同時空間共有ディスプレイ（SSSD：Simultaneous Spatial Shared Display）」と、その内部エンジンである「ExField」を開発しました。近く国内とフランスでのVRに関する国際会議でも発表します。AR（拡張現実感）広告や異なる情報・言語の表示など、幅広い応用が期待されます。実用化に向け株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリと共同研究を推進します。

近年、液晶ディスプレイの解像度は高解像度化し、4K（幅約4,000ピクセル）といった高解像度ディスプレイも一般化しつつあります。ディスプレイの同時表示技術は、画面分割や画面切り替えといった古典的手法の他に、メガネなし立体映像表示に使用される3D液晶技術を応用した複数視点表示技術が提案されていますが、通常の表示方式に対して解像度が半減し、暗くなる上に、視認位置に限られるといった弱点がありました。

白井准教授らは2010年にプロジェクションマッピングを応用した多重化隠蔽映像技術「Scritter」、 「ScritterH」、2014年5月に第4世代多重化不可視技術「ExPixel」（エクスピクセル）を発表しました。ExPixelは、市販のパッシブ3Dディスプレイと互換のハードウェアで、偏光メガネ着脱により2チャンネルのコンテンツを自由に切り替えて視認できる技術です。聴覚障がい者向け字幕付与といった応用に有用であり、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリと共同で合理的配慮対応にむけた製品化試験を行っています。しかし、同技術を一般に広く利用するためには、メガネの着脱のわずらわしさや音声の切り替えが課題とされており、教室などより実際の使用環境での継続的な研究が必要な段階となっています。

このたび開発に成功した「ExField」技術は、一連の研究の最新の成果として発表されるもので、ExPixelよりもさらに、一般に広く普及している液晶ディスプレイに利用できる技術で、偏光メガネのような装着物を必要としない多重化技術です。この技術は、大学院情報工学専攻の総合プロジェクトとして、従来からメガネが不要な3Dディスプレイを研究する谷中教授と白井研究室の大学院生・鈴木久貴さんとの共同で、レンチキュラー板と呼ばれるプラスチックレンズおよび、リアルタイム画像合成ソフトウェア(Unity)によって、幅広い利用者が利用できる機材構成において実験を通して完成させました。これには、

- (1)視聴者の方向に対して異なる映像を表示可能
- (2)視聴者の方向に対して、正しい矩形が保たれた表示が可能
- (3)メガネ等の装着物やセンシング不要
- (4)コンテンツ視聴方向に正しい指向性音響

(5)既存のディスプレイにユーザによって着脱可能

といった特徴があります。キャラクターやロゴマークのような、表示比率が正しく表示されるべき図画を視点に依存せず正しく表示可能な、新しい感覚のディスプレイ技術です。

本技術の応用の可能性は広く、デジタルサイネージ、裸眼3D、映画館やライブイベント、図形にセンシティブなキャラクターやロゴ、交通標識、美術館やミュージアム、リモートロボットの操作、多人数で同時体験可能なAR（拡張現実感）広告、印刷物への応用、といった用途が提案されています。既存のVRやARに利用されていたHMDやタブレットコンピュータといった装着物が不要になるため、インタラクティブ技術と組み合わせることでより広い応用が見込まれています。具体的にはスタジアム等の大型スクリーンへの利用で、利用者の着席位置に対して、視聴角度によって歪みがない画像や広告、応援するチームにあわせた情報や言語を表示できます。2020年に開催される東京オリンピックを背景に、3Dや4K/8Kといった高解像度ディスプレイに対して、強い推進力をもつ技術になることが期待されます。

この技術は幾徳学園 神奈川工科大学により特許出願中であり、3月23～27日にフランスで開催される、ヨーロッパ最大のVRに関する国際会議Laval Virtualにおいて、そのプロトタイプである「GAD: Glassless Augmented Display for Public Signage」を一般・専門家向けに展示発表する予定です。国内では3月1日にTEPIAホール（東京・北青山）にて、連携企業とともに初の発表会を行います。研究成果発表会である「エンタテインメントシステム工学研究会」は、白井准教授の専門とする科学コミュニケーションやエンタテインメント工学技術から、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリといった企業を軸に、教育、医療、福祉、交通、施設、インフラ等へ、オープンな産学連携活動で活躍する企業パートナーが集まり、次世代の「おもしろいモノづくり」を共有します。参加無料（要申込）。

■白井研究室研究成果発表会「エンタテインメントシステム工学研究会」（2016年3月1日開催）

詳細：<http://blog.shirai.la/blog/2016/02/20160301/>

申込：<http://j.mp/TEPIA20160301>

■白井研究室「ExField」：<http://blog.shirai.la/projects/exfield/>（動画あり）

■白井研究室「ExPixel」：<http://blog.shirai.la/projects/expixel/>

■フランスLaval Virtual：<http://www.laval-virtual.org/>

本件に関する問い合わせ先

■神奈川工科大学 工学教育研究推進機構 担当：山本博一

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030

Tel：046-291-3218

E-mail：ExField@shirai.la

■株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520

E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

[富士通ホームへ >>](#)